

教育民生常任委員会 摘 録

1. 開催日 令和6年4月26日(金) 第3委員会室
2. 出席委員 五島誠委員長 前田智永副委員長 赤木忠徳 横路政之 宇江田豊彦 藤木百合子
3. 欠席委員 なし
4. 事務局職員 橋本和憲議会事務局主任主事
5. 説明員 なし
6. 傍聴者 1名(うち議員 松本みのり議員)
7. 会議に付した事件
 - 1 所管事務調査について
 - 2 その他

午前10時00分 開 議

- 五島誠委員長 ただいまより教育民生常任委員会を開会いたします。ただいまの出席委員は6名です。よって、直ちに会議を始めます。本日の会議において、傍聴、写真撮影、録音、録画を許可しています。

1 所管事務調査について

- 五島誠委員長 それでは、協議事項1点目、所管事務調査についてと記載していますが、先般からお知らせをしているとおり、4月30日の参考人招致の件について、先に現在の状況を事務局から説明させます。
- 橋本和憲議会事務局議事調査係 それでは、日程等について説明いたします。日程は4月30日、火曜日、午後2時から。参考人として庄原自治振興区の福田区長、滝口事務局長、東三区教育推進協議会の松浦会長、永末小学校PTAの関係者の方に御出席をしてもらう予定です。事務局からは以上です。
- 五島誠委員長 ただいま説明があったとおり、今、4月30日に4名の方にお越しをしてもらえることになっています。よろしくお願ひします。その際、それぞれが違う方向を向いて話をするのはこの委員会でこれだけ話をしてきたのでないと思いますが、改めて確認をしておきます。前回の委員会でお示ししたとおり、まずは本委員会としてこれまで行ってきた調査の内容と、それから、そこからある程度導き出された考え方として、まずは永末僻地保育所を廃止するというで考えて、そこからスタートしようという話をした後に、そうしたことについてどのようにお考えか、それぞれ意見をもらいたいと思います。また、委員会が終わったら、その後、参考人招致の場合はこちらから一方的にお聞きすることになるので、意見交換ということで調査会に切り替えて、もう少しざっくばらんな形で意見交換をしてその日の日程を終えたいと思います。そのことについて、改めて皆さんから御意見や御質問があれば、挙手の上、御発言をお願いします。よろしいですか。横路委員。
- 横路政之委員 僻地保育所の廃止を投げかけるのか。委員長から先にドンと言うのですよね。
- 五島誠委員長 言います。他にありますか。よろしいですか。最初の私からの投げかけが終わった後

に、4名の方からそのことについて話を受けますが、またそこからは皆さんから順次質問をしてもらい形になるかなど。その際に、一応、先方と打ち合わせをさせてもらってその日を迎えようと思っておりますが、そうは言っても、向こうからすれば、このことについてはどう感じているかとか、向こうからの質問もあるかもしれません。後の調査会でしっかりと話をさせていただきますということでも結構ですし、また質問につながってもらえれば大丈夫かなど。その辺のすみ分けというか、そうしたところだけは少し頭に入れながら当日を迎えてもらえればと思うので、よろしく願いいたします。この件につきまして、皆さんからさらに質疑等があればお伺いをします。よろしいですか。それでは、4月30日、午後2時からとなっているので御参集をよろしく願いいたします。それでは、所管事務調査について、そのほかの事項について皆さんから何かあればお伺いをします。まずは医療体制の関係で、今後の進め方として何かあればお伺いをします。よろしいですか。現在の流れとしては、前回、一旦、確認作業をしました。本年度実施をされる調査もあると聞いているので、そうしたもののある程度の執行状況がわかった段階で、再度、当局をお呼びして、それを受けて報告になるかと思っております。よろしいですか。続いて、子育て支援について、永末小学校区の件は今話をしたとおりですが、それ以外の部分で、皆さんからこうしたものを調査したほうがいいのかというのであればお伺いをしておきます。何かありますか。よろしいですか。情報提供等は随時します。続いて、教育条件のことで、同じく永末小学校区以外の部分で何かあればお伺いをします。よろしいですか。藤木委員。

○藤木百合子委員 不登校は。

○五島誠委員長 別立てです。項目が分かれているので。先ほどあった不登校について、昨年度は視察に行きましたが、本年度はどのように進めていくか意見があればお伺いをします。藤木委員。

○藤木百合子委員 ひきこもりは別立てですか。

○五島誠委員長 現在の教育民生常任委員会の閉会中の継続調査事項としては、不登校についてという大きなくりでしています。ひきこもりの関係も関連するかと思っておりますが、ひきこもりについてという項目で継続調査事項に上げていないので、不登校から外れる部分については、今のところはなかなか難しいかと思っております。藤木委員。

○藤木百合子委員 不登校に関して、庄原市の現状というか対策というか、実態を見に行くとか現状をもう少し調査してみたいなと思っております。

○五島誠委員長 視察に行く前の段階で、一旦、広島県教育委員会に行きましたよね。その前の段階で庄原市教育委員会から一旦レクチャーを受けています。また、視察に行った後も、再度、本委員会に教育指導課長を招致して話をしたところですが、時期的な部分もあるかと思うので、また改めて、本年度の状況がだんだんと見えてきた段階でそうした話を聞くということはしたほうがいいのかと思っております。藤木委員。

○藤木百合子委員 庄原実業高校の向こう側にある何教室でしたか、その辺も見に行きたいと思ったのですが。

○五島誠委員長 「つばさ」ですかね。可能だと思います。ただ、いつ行けるかとかそういったことは調整が必要かと思っております。一旦、委員長のほうで持ち帰らせてもらって、これを手元に置かずに、教育指導課長等に状況などを伺った後に皆さんにお返しをしようと思っております。それでよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○五島誠委員長 他にありますか。よろしいですか。そういった形でさせていただきます。1点、本年度

が私どもの任期最終年度ということもあって、委員会の行政視察については、今年度もし行くとすれば、10月をめどに早い段階で行かなければ、さまざまな報告をまとめていく段階になるので行けないこともあります。本年度の行政視察等について委員の皆さんから何か案があれば、今すぐにとということではないので。委員長のめどとしては、行くとすれば、6月議会が終了した7月、8月の辺りになるのかなと考えています。こちらについては皆さんにも持ち帰ってもらって、前回の流れの中で、同様のところがいいのか、はたまた、違う調査項目のことについて、行く必要があるところがあるのか少し検討してもらえればと思います。また次回の委員会等でお伺いをしますのでよろしくお願いいたします。よろしいですか。もし今ありましたら。

○横路政之委員 今、委員長の思うところはあるのか。

○五島誠委員長 今は特段ないです。それでは、そのようにしてください。

2 その他

○五島誠委員長 その他の項に入ります。昨日、議員全員協議会の中で議長から、主権者教育について各委員会で取り組んでほしいということがあったかと思います。先般、委員長、副委員長と議長、副議長の定例の懇談の場がありますが、その中でも言われていて、庄原市議会のガイドブックができたので、そちらを活用して、どこか教育施設に出向いて活用してほしいと。以前は、いわゆる議会報告会の高校版みたいなものを行っていましたが、そうしたものに近いというか、小学校でも中学校でもいいし、はたまた大学でもいいと議長が言っていたので、もし皆さんから、ここに行きましようというものがあればお伺いをします。時期的なところについても、あまり遅くなってもいけないし先方の都合もあるので、ある程度早い段階で行くところをピックアップしていかなければいけないのかなと思います。皆さんから何か考えがございましたらお伺いしておきます。いかがですか。藤木委員。

○藤木百合子委員 島根で、今ちょうど補欠選挙のこともあって、小学生、中学生だったか、模擬投票という形で主権者教育をされているのをテレビでして、庄原市でもそういうことが必要だなと思ったので、この取り組みはぜひ進めもらいたいなと思いました。

○五島誠委員長 他にありますか。宇江田委員。

○宇江田豊彦委員 委員会としてどのようにするかということですよ。委員会というよりも、議会全体の考え方で進んでいくべきだろうと。委員会で先行して取り組みをするのはなかなか難しいかなとも思うのですが、とりわけ学校との関連で言えば、学校教育については本委員会が所管をしています。その辺で、例えば、校長会であったり、そういうところと話をする機会を持って、日程的にもカリキュラムの中にそういうことが入れられるかどうか、そういうことを希望されるところがあるのか調査をする程度のことからスタートする以外にはないのではないかと思います。

○五島誠委員長 赤木委員。

○赤木忠徳委員 各委員会で物事をするよりも、議会全体で物事に対応する。以前は模擬議会、学校の生徒に議場に来てもらって、議員の席に小学生が座って模擬議会をするというのほどこの議会でもよくしていることなのですが、そういうことも含めてしていくほうがスムーズに行くのかなと思うので、その辺は、また各常任委員で意思統一をしてから動いてもらいたいなと思います。

○五島誠委員長 横路委員。

- 横路政之委員 各委員会がばらばらですのもどうかなのかなと思う。こういうことは議会でどんと。前に高校で議会報告会をしたではないですか。ああいうスタイルでしないと難しいのではないかと思います。相手があることだからと思うのだけれども。
- 五島誠委員長 副委員長。
- 前田智永副委員長 議長懇談の中でも委員長、副委員長として少し話をさせてもらったのですが、市民と語る会の委員会版みたいなイメージなのかなと個人的に思ったのです。主権者教育について、まずは今分かっているグループで話をする機会を持つという感じなのかなとイメージしたので、そういう意味では、まず委員会で1回ずつ話をして、どこかの学校と話をして、という取り組みもやぶさかではないのかなと思いました。
- 五島誠委員長 そういったことなので、先ほど宇江田委員が言われたように、少し校長会等々と話をさせてもらって。本委員会は所管なのでそういったことはやりやすいのかなと思いました。そうした中で、当然、こちらから議会全体にも情報提供というか、そうした形もできるだろうし、そうしたことをしながら、少しプレ的になると思います。まだ議会全体でこうしようという、そうした大きな方針というか、そうしたものが、例えば、議会運営委員会等の中で確立されたものがあってということではないと思うので、庄原市議会のガイドブックをつくって広く皆さんに知ってもらいたいと、議会の活動はどういったものなのか、特に、子供たちに知ってもらい、わかりやすく話をしていくことも必要だろうということだと思います。委員長としては、あまり構えずに進めてもいいのかなと考えていました。一旦、校長会等と話をしてみて、できる、できないも含め、また皆さんにお返しをします。横路委員。
- 横路政之委員 大人も割と知らないのではないかなという感じもするので、今から始まる井戸端スタイルとかで使うのも手かなと。
- 五島誠委員長 当然、今回できたガイドブックについては、井戸端スタイルや既存の取り組みの中でも使用していくことになるかと思います。また、議員個人としても、この周知といいますか、啓発についてはぜひとも努めてもらいたいと思います。宇江田委員。
- 宇江田豊彦委員 今回の議員全員協議会での議長の提案は、委員会としてこのガイドブックの活用について検討してほしいということだったと思います。それについては、議員全員協議会で皆さんが賛同して確認をされた行為が一定程度できたと思うので、委員会とすれば、このガイドブックをどう活用するのか。主権者教育を、とりわけ学校現場はどのように考えておられるのが第一だと思うので、先ほど言ったように、そういう確認をした上で、具体的な、プレ実施みたいな形になるかと思いますが、できればそういうことを委員会として検討するということがよろしいのではないかと思います。
- 五島誠委員長 それでいいと思います。他にありますか。よろしいですか。そのほか、皆さんから何かありましたらお伺いをします。宇江田委員。
- 宇江田豊彦委員 所管事務調査で、先ほど委員長は、子育て支援については議論の項目に上げられなかったのではないかと思います。上げられましたか。
- 五島誠委員長 上げました。
- 宇江田豊彦委員 少し消化不良で、その部分の議論を今後どう進めていくのかなと。
- 五島誠委員長 特段皆さんから意見がなかったのです。赤木委員。
- 赤木忠徳委員 医療体制の現状と課題について言わなくてはいいけなかったのですが、私はこの前、西

城市民病院の建て替えの問題も含め、公立病院の在り方をどういう形で示していくべきか、今後の体制も含めて勉強をして帰りました。それについてまとめたものを皆さんにお渡ししたいのですが、受け取ってもらえるかどうか。

○五島誠委員長　　ただいま赤木委員より情報提供の申し出がありました。ぜひともそれはしてもらえればと思いますのでよろしくをお願いします。事務局と調整して、モアノート等のできるようならそちらで活用させていただきます。ありがとうございます。他にありますか。横路委員。

○横路政之委員　　西城市民病院に関しても、東城町から一旦入院された方がここは建物がひどいと。施設のにもどうなのかなという時期に来ているのかなと感じるのです。その辺の問題提起もどこかがしないとずるずると行ってしまうのではないかと。

○五島誠委員長　　赤木委員。

○赤木忠徳委員　　今の横路委員の意見に対して、今年度、調査費がついています。調べてみたらついていました。市長も建てかえることを2回も表明もされているので、その方向性で調査費がついています。私も、近々、特別プロジェクトチームというものができつつあるという情報を持っています。それに対して、全国の自治体に600くらいあるのですが、そのうち350くらいを訪問して、現状を見て、それから総務省の委員として頑張っている先生の勉強会だったのですが、庄原市は庄原赤十字病院と西城市民病院の2つで国から4億9,000万円の特別交付税が出ています。三次市の場合は2億7,000万円くらいです。今後も、新たな感染症に対して頼りになるのは公立病院だということで体制をつくってきているので今が一番のチャンスとも言われていました。非常に分厚い資料だったのですが、それを事務局にも渡しますし、各担当課にも5部ずつ送りましたので、またそれを参考にしてもらえと思います。

○五島誠委員長　　他にありますか。よろしいですか。それでは、確認ですが、4月30日が次回の委員会となっているので御参集をよろしくをお願いいたします。以上で教育民生常任委員会を閉会いたします。

午前10時26分　　散　　会

庄原市議会委員会条例第30条の規定により、ここに署名する。

教育民生常任委員会

委員長